

令和5年度全国学力・学習状況調査 概観

令和5年4月18日に、全国学力・学習状況調査が行われました。

この調査は、子どもの学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題を検証して改善を図るとともに、学校における指導の充実や学習状況改善等に役立てることが目的であり、全国の小学校第6学年と中学校第3学年が全員参加して行われます。

調査は「国語」「算数」の2教科と、児童の家庭生活や学習意欲等に関わる「学習状況等」について実施しています。

1 概観

○実施した2教科の本校の平均正答率は、全国・全道平均を大きく下回りました。教科の分析結果は後述します。

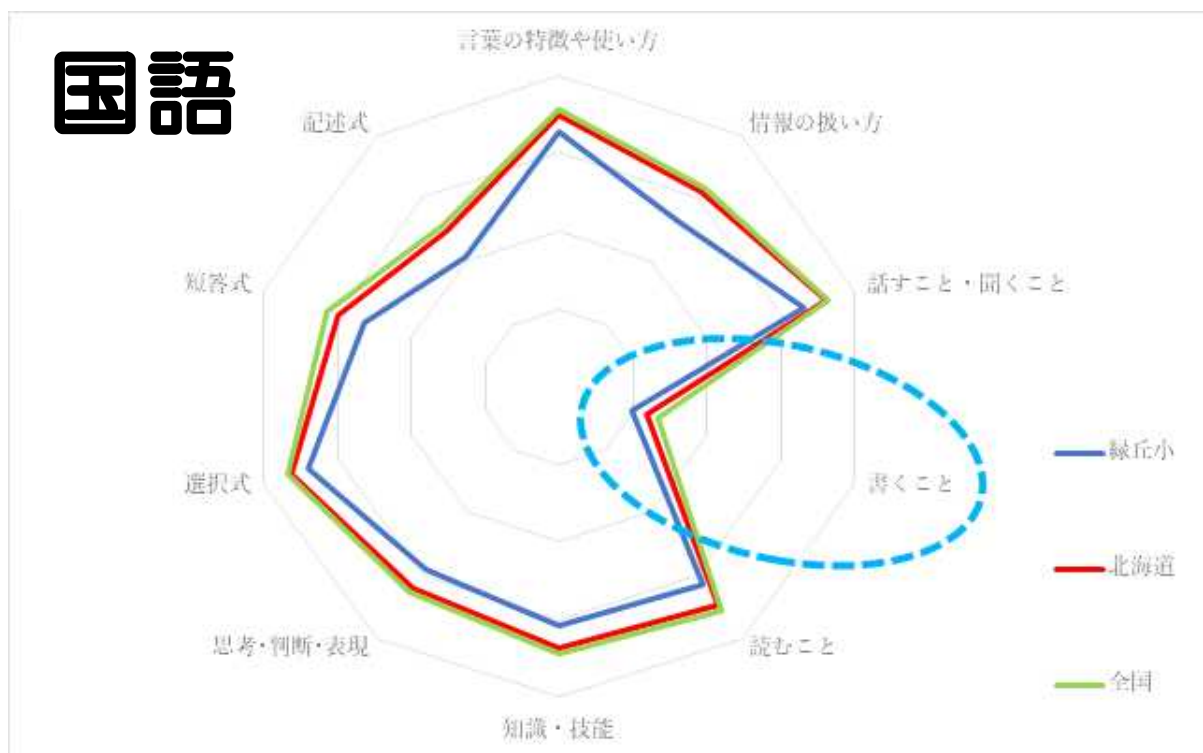
○全国・全道と比べると、正答数の少ない児童の数が多いのが特徴的です。

○次ページからのグラフでは、各教科の单元ごと正答率を、「全国（緑ライン）」「全道（赤ライン）」「本校（青ライン）」として重ねて表示しています。

○また、調査結果の考察から、今後授業で重点的に指導していきたいことを記載しました。家庭学習の参考にしていただければ幸いです。

○「学習状況調査」では、テストの点数には表れない学習意欲や授業の進め方についての設問や、家庭での基本的な生活習慣や学習習慣に関わる設問もありました。その結果についても記載していますので、ぜひご覧いただきご家庭でのご支援とご協力もよろしくをお願いします。

2 国語 自分の文章を精査する必要あり



【傾向】

○本校の平均正答率は、全国・全道を大きく下回りました。

○情報の問題点を指摘して文章化したり、必要な条件を満たした文章を考えたりすることが不十分でした。

○内容は正しくても、漢字の間違いや、拗音や句読点を正しく表記できていない解答も見られました。

○最後の問題は選択式ですが、無回答も多くありました。「解答時間が足りなくて、最後の問題まで目をとおせなかった」こと想定できます。

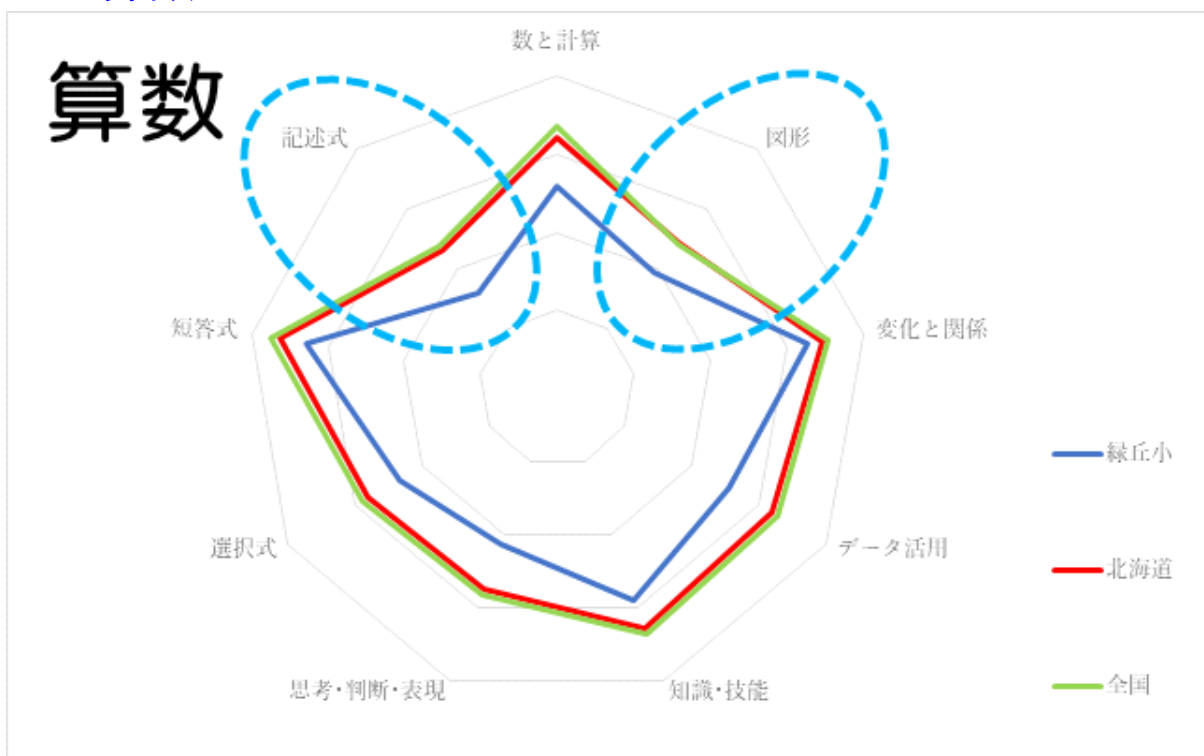
【対策】

○日頃のノート指導から、「文の終わりには句点をつける意識」「誤字脱字が無いかを確認する意識」を高める必要があります。例えば、「先生や友達に見せる前に必ず自分で確かめる」など、自分の文章に責任をもって表現し、見直す意識とスキルを高めるよう指導します。

○漢字や文法といった基礎事項をしっかりと覚えていることも大切です。

○テストのスキルとして、「つまずいた問題は後回しにするなど、自分の力を出し切る」よう指導していきます。

3 算数 基礎の定着と説明スキル



【傾向】

- 本校の平均正答率は、全国・全道を大きく下回りました。
- 基礎的なかけ算（「 7×12 」「 50×40 」）の計算間違いや、比例の関係に気づくことなど、知識・技能の観点における誤答がありました
- 記述問題では、解答しているものの必要な字句が足りずに不十分であるものが多く見られました。
- 二つの式がそれぞれどのようなことを表しているのかを選んだり、示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて求め方と答えを式や言葉を用いて記述・判断したりする問題については、誤答だけでなく無回答も目立ちました。

【対策】

- 基礎的な計算スキルや図形の基礎知識などは、時間をかけて繰り返し学ばなくては身に付きません。算数・数学は前学年に学習した内容に積み重ねるようにして学ぶため、その学年の内容をその都度理解し、定着させるまで熟練していく必要があります。
- その上で、理解したり気付いたりしたことを言葉で正確に表現できる力が必要です。「記述式」の問題は、ここ数年国語科と同様に正答率が上がってきていることもあり、今後は自分の文章を見返したり正確さを確かめたりする意識と行動が高まることで、確かな学力が身に付くと考えられます。

4 学習状況 家庭での「早寝・早起き」「家庭学習」に不安

- 「寝る時間」「起きる時間」など、全国・全道より低い結果でした。
- 「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」の設問に「している」と答えた児童、「毎日同じくらいの時刻に起きていますか」に「している」と答えた児童ともに、全道・全国を大きく下回りました。

- 「家で自分で計画を立てて勉強していますか（学校の授業の予習や復習を含む）」の設問に「よくしている」と答えた児童は、全道・全国を大きく下回っています。
- 「月～金曜日、授業時間以外に1日どれくらいの時間勉強しますか（塾等を含む）」に、「1時間以上」と答えた児童は、全道・全国を大きく下回っています。
- 「月～金曜日、授業時間以外に1日どれくらいの時間読書をしますか（電子書籍等を含む）」に、「1時間以上」と答えた児童は、全道・全国を大きく下回っています。

- 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の設問にほとんどの児童が「当てはまる」と答え、「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童を合わせるとほぼ100%になっています。
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」に「当てはまる」と答えた児童は、全道・全国を上回っています。

- 学力調査について「解答時間は十分でしたか」の設問で、「時間が余った」「ちょうどよかった」の解答した割合が、全道・全国を大きく下回りました。時間内に正しく回答できるように、解答の仕方も含めて指導していきます。

全国学力・学習状況調査の結果は、全校の教職員で共有し、それぞれの学年・学級での学習活動に生かしています。

学力の向上は本校の喫緊の課題であり、それにはご家族からの支援も欠かせません。

これからも、児童の様子を踏まえて、目標を見据えながら具体的な指導を心がけます。保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。